

# 人権・同和教育室要請研修内容について

①～⑫の研修メニューを組み合わせたり、視聴覚教材を活用したり、体験的参加型を取り入れたりする等、学校の要望に沿って実施します。また、その他の内容についても要請を受けています。お気軽にご相談ください。



## 人権教育の推進に関わること

	研修名	時間(分)	内容
①	人権教育入門編～学校における人権教育の推進について～	60	人権問題解決に向けた国及び県の動きや、学校における人権教育が目指すもの、人権教育を通じて育てたい資質能力について等、人権教育の基礎となる内容です。
②	人権が尊重される環境づくり	60～90	安心・安全な学級・学校づくりを進めるには、どのような人的環境・物的環境が必要なのかという視点で、教育環境づくりを学ぶ内容です。
③	多様性の理解と人権尊重に向けてのアプローチ	60～90	福岡県県民意識調査からの課題を踏まえ、差別につながる思い込み・偏見にとらわれない児童生徒を育成するための指導の在り方について考える内容です。
④	差別事象の対応と教訓化	60	差別発言が起こった場合の対応について、さらにその解決に向けて、京築教育事務所作成のリーフレットをもとに演習形式で学ぶ内容です。
⑤	人権尊重の視点に立った学校と家庭との連携	60	学校と家庭の理想的な連携の在り方や、家庭訪問の価値や留意点について、体験談等から学ぶとともに、家庭への発信について考えていく内容です。

※④の差別事象に対する対応については、数年に一度、実施することをお勧めします。

## 授業づくりに関わること

	研修名	時間(分)	内容
⑥	人権感覚を育てる授業づくり	60～90	人権感覚とは何か、日々の授業の中でどのように育成していくのかを「授業づくり虎の巻」、「授業づくり虎の巻Ⅱ」等を活用して学ぶ内容です。
⑦	体験的参加型学習を位置付けた授業づくり	60～90	人権教育学習教材等を活用した演習を通して、多様性が尊重できる交流活動の進め方について学ぶ内容です。
⑧	人権教育学習教材を活用した授業づくり	60	『かがやき』『あおぞら』『あおぞら2』の効果的な活用について学ぶ内容です。
⑨	主題研究と人権教育とのつながり	60	教科・領域等の内容・目標と人権教育がどのように関わっているかを学ぶ内容です。学校の研究テーマと人権教育の関わりを整理する場合にお勧めです。
⑩	ユニバーサルデザインの視点に立った授業と人権教育とのつながり	60～90	ユニバーサルデザインの視点が、わかる授業や学習に参加していることを実感できる授業につながっていることを「授業づくり虎の巻」等を活用して学ぶ内容です。
⑪	人権が尊重された人間関係づくりに役立つ人権レクレーション講座	60	よりよい人間関係づくりに役立つ、人権教育の視点に立ったレクレーションの内容や進め方について、実技を通して学ぶ内容です。

※研修を深める為にグループ交流を推奨しています。その場合は30分程度の時間確保をお願いします。

## 個別的な人権課題に関わること

	研修名	時間(分)	内容
⑫	障がいのある人の人権について	60	視聴覚教材や人権教育学習教材等を活用して、当事者の思いや願いにふれ、障がいのある人の人権についての理解を深める内容です。
⑬	「障害者差別解消法」と合理的配慮について	60	視聴覚教材や関係機関のリーフレット等を活用して、すべての児童生徒が安心して学校生活を送れるための支援について学ぶ内容です。
⑭	外国人の人権について	60	異文化理解や多様性を認め合う学校づくりに向けた実践例をもとに、外国人の人権についての理解を深める内容です。
⑮	在日韓国・朝鮮人問題について	60～90	「ヘイトスピーチ解消法」制定の現状を踏まえながら、中学校社会科教科書の記述をもとに、日本と朝鮮半島の人々との歴史についての理解を深める内容です。
⑯	ハンセン病患者・元患者の人権について	60～90	人権教育学習教材等を活用して、ハンセン病患者の隔離政策等の差別の歴史や当事者の思いや願いにふれ、ハンセン病問題についての理解を深める内容です。
⑰	インターネットによる人権侵害について	60～90	人権教育学習教材等を活用して、インターネットによる人権侵害の現状や背景、解決の見通しについて学ぶ内容です。
⑱	性的少数者の人権について	60～90	視聴覚教材や人権教育学習教材等を活用して、性的少数者に関する知識や当事者の思いや願いにふれ、性的少数者の人権についての理解を深める内容です。

※個別的な人権課題の要請については、児童生徒への指導を行うための事前研修としても活用できます。基本的な内容から、授業などでの活用法等、要望にお応えします。

## 同和問題に関わること

	研修名	時間(分)	内容
⑲	同和問題入門	70～90	「部落差別解消推進法」制定の導入から、視聴覚教材を活用し同和問題の現状と課題を整理しながら学ぶ内容です。日々の授業づくりのヒントにもつながります。
⑳	被差別部落の歴史Ⅰ～中世から江戸～	90	中世の「穢れ」意識から江戸時代の身分制までを、時代背景と民衆の意識から被差別部落の成り立ちについて学ぶ内容です。
㉑	被差別部落の歴史Ⅱ～明治から現代～	90	明治の賤民廃止令から水平社運動の成立、被差別部落と国の動向などを時代背景や民衆の意識から学ぶ内容です。
㉒	被差別部落の歴史～概略版～	70～90	Ⅰ、Ⅱをコンパクトにまとめた内容です。※希望時間に応じて内容を調整します。
㉓	小学校社会科における同和問題に関する授業づくり	70～90	同和問題に関する小学校社会科の指導におけるポイントと指導方法について学ぶ内容です。※中学校の社会科にもつながる内容です。

※同和問題は、夏季休業中の「個別的な人権課題指導カススキルアップ講座」でも行っています。希望制でどなたでも参加できますので、学校での要請研修が難しい場合は講座に御参加ください。



# 要請研修の効果的な活用について

※個別的な人権課題は、数年計画で系統的に研修するのが効果的です。

「部落差別解消推進法」は  
どういう法律なのかな？  
部落差別の現状は  
どうなんだろう？

本年度

【要請研修】⑱  
同和問題入門

教職員アンケート等  
で、系統的な計画を立  
てるのが大切です。地  
域で実施される人権研  
修会等の内容も考慮し  
ましょう！



LGBTについても、  
詳しく知りたいん  
だけど..

次年度

【要請研修】⑱  
性的少数者の  
人権について



※年間2回の実施により、効果的な研修になります。

外国にルーツを持つ  
子どもが、最近、  
クラスで浮いている  
気がするんだけど..

1回目

【要請研修】⑭  
外国人の  
人権について

○実践校の事例等から多様性を認め合うクラス  
づくり、集団づくりに取り組みましょう。

要請研修は、教職員の資  
質向上はもちろんですが、  
課題を学校全体の課題とし  
てとらえ、解決に向けた取  
組を学校全体でどう取り組  
んでいくか、情報を共有し  
指導に生かすことにも活用  
できます。



保護者には  
何から話を  
していけば..

2回目

【要請研修】⑤  
人権尊重の視点に立った  
学校と家庭との連携

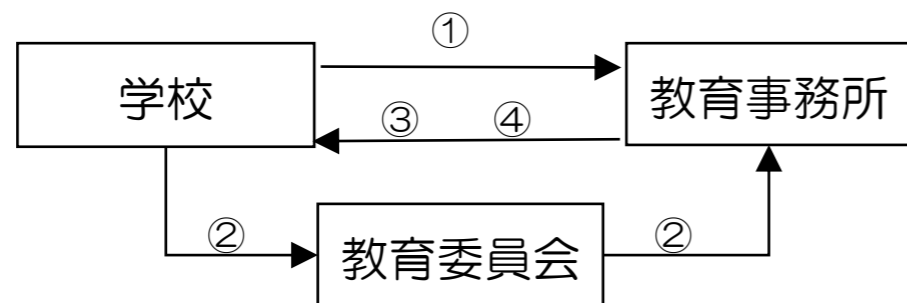
○家庭訪問で本人や保護者の思いや願いにふれ、  
指導に役立てましょう。



★年間2回の場合、⑱「同和問題入門」で基礎的なことを学んだあと、㉓「小学校社会科における同和問題に関する授業づくり」を行い、内容を深めることも効果的です。

## 【要請の手続き】

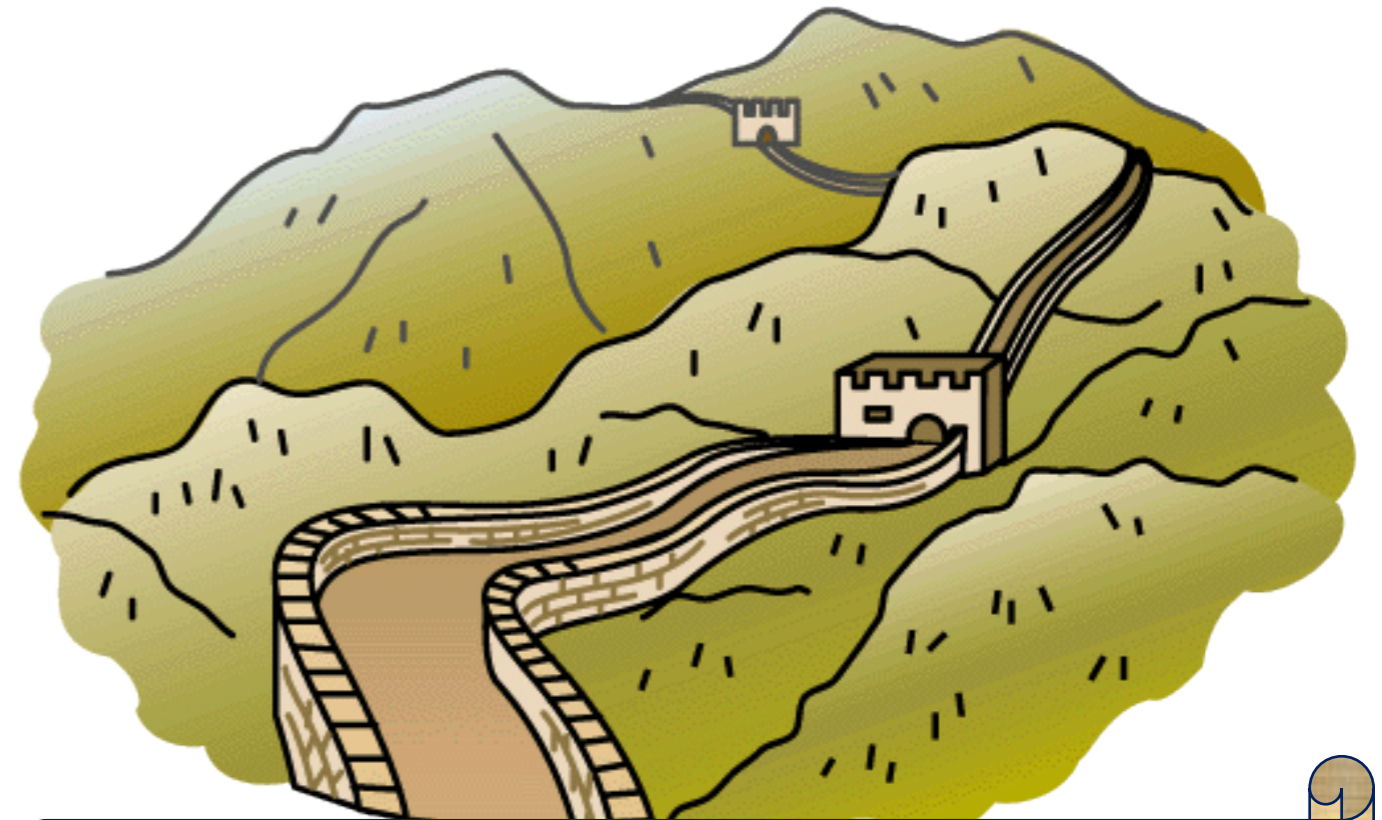
- ①まずは、人権・同和教育室にお電話ください。  
※日程調整と研修内容を確認。
- ②「講師派遣申請書」を教育委員会経由で提出してください。  
※各学校の書式で結構です。
- ③研修の1～2週間前に内容打ち合わせに伺います。
- ④要請研修当日訪問。



まず、お電話を！  
☎0979  
83-3602



# 人権教育要請研修メニュー



（訳）学んでも  
自分で考えなければ、  
物事ははつきりしない  
自分で考えても  
人から学ぼうと  
しなければ、  
独断に陥って危険である

論語（孔子）より

則ちあやうし  
思いて学ばざれば  
則ちくらし  
学びて思わざれば

京築教育事務所 人権・同和教育室